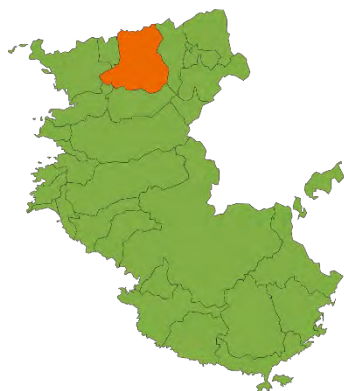


和歌山県紀の川市

紀の川市の新商品開発プロジェクト



【活動の基本情報】

参加学生数：8名

(1年生：4名、2年生：4名)

活動期間：2023年5月～

担当教員：竹田明弘

1. 活動実施の経緯

L P P（紀の川市）では、これまでフルーツを用いた数多くのスイーツ商品を提携企業、店舗と開発、販売してきた。本年度は、これまでの活動をさらに発展させ、また、紀の川市という名称の知名度を上げるための活動を目的とし、手土産商品、加工商品の開発を目的としたプロジェクトをスタートさせた。本年は同プロジェクトの1年目である。

2. 活動の内容

これまで、紀の川市の店舗と協力しながら主に店舗で提供できるスイーツ、パンなどの開発を実施してきた。ただし、それだと現地でしか購入することができず、より広範囲な地域の顧客を対象として販売することにおいては限界があった。また、スイーツは基本的に生菓子であるため、消費期限が加工後数日しかなく、それも広範囲な地域の顧客を対象とした場合の課題であった。そこで、紀の川市と共同した新たな活動として手土産商品、加工商品の開発を目的としてプロジェクトがスタートした。ただし、これまでとは商品のタイプが異なるため、そこでの活動実績がない。地域の信頼も不十分である。そこで、本年は新しいタイプの商品開発の学習、データ分析の学習というグループとしての能力を高めるということを主眼に活動を実施した。こうした学習の一環として、本年は和歌山市に本店がある Patisserie SAVEUR と焼き菓子をベースとした手土産商品の開発活動を実施した。商品については現在も同店舗と共同活動の途中である。同商品は2024年度ゴールデンウィーク前後に発売予定である。さらに、昨年度のプロジェクトであった、近鉄百貨店 夏のお中元「紀の川アソートセット」が6月に発売されるにあたり、同セットの完成に向けた作業並びに広報活動を実施した。

3. 活動を通じて

将来的により大きな店舗と全国発売できるような商品を開発するためには、消費期限が長いこと、もしくはないことが要求される。そこで、本年は新たな試みとして加工食品の一つである焼き菓子の商品開発活動を実施した。ただし、データ分析に関する能力、マーケティングをベースとした思考など、まだまだ不足している部分は多く、社会により信用されるグループとなるために継続的に能力を高めていく必要がある。

4. 成果ポスター

紀の川市LPP - 2023年度活動報告 -

紀の川市は和歌山県北部に位置し、北は大阪府、西は和歌山市に隣接しています。また、温暖な気候と紀の川がもたらす肥沃な土壌を最大限に利用して、野菜、果物など多種多様な農作物を生産しています。はっさく、いちじく、柿、キウイフルーツ、いちごなど四季折々の果物が収穫できる全国有数の果物産地です。

お中元企画第2弾

和歌山大学観光学部×紀の川市×近鉄百貨店
「紀の川アソートセット」



○内容○

- ・九重雑貨「いんでくら（梅酒720ml）」
- ・観音山フルーツガーデン「のうかちっぶず(柿のチップス)30g」
- ・「和歌山なちゅるん はちみつレモン味(はちみつ増量タイプ)160g」
- ・藤桃庵「まげるジャム(イチゴ・はっさく・パナラミルク各40g)」

前期活動

昨年度、近鉄百貨店とのお中元企画第2弾として「九重雑貨」「観音山フルーツパーラー」「藤桃庵」の3社と共同開発した『紀の川アソートセット』を夏にお中元販売と近鉄百貨店和歌山店での店頭販売を行いました。お中元販売において様々な広報活動も行い、商品開発における取り組みや商品の魅力が伝わるよう尽力しました。また店頭販売では、開発した商品を自分自身の手で販売することは初めてだったので、戸惑いもありました。しかし、お客様とのコミュニケーションを通じ、購入してくださる嬉しさを初めて体験できました。

一方で予想していたよりも商品が売れなかった現場を目の当たりにし、売れる商品を開発することの厳しさを知りました。これらの経験を次年度に生かし、商品開発に励んでいきたいと考えています。



LIVING和歌山 2022年8月27日号に掲載していただいた写真

後期活動

「Patisserie SAVEUR」は和歌山市にあるケーキ屋さんで40年以上地元の方に愛されています。地元の素材を活かしたケーキ作りが特徴的です。比較的リーズナブルな価格でケーキを楽しむことができ、和歌山県内で4店舗を展開しています。

今回の商品のコンセプトは『社会人が手土産として渡すことのできる”焼き菓子”』です。まず、市場調査としてGoogleアンケートを実施しました。その後、SPSSという分析ソフトを利用してどのような焼き菓子であれば売れるのか、味や種類、個数などの点から分析を行いました。その結果と会議を重ね、商品をパイとスノーボールクッキーに絞りました。現在もサプール様と協力し商品開発を進めています。販売予定は4月を予定しています。



※写真は2023年12月7日に行った試食段階のもの です。

2023 年度 LPP 合同活動報告会 実施報告

和歌山県紀の川市

テーマ：紀の川市の新商品開発プロジェクト

報告会では前期活動と後期活動に分けて報告しました。前期活動では昨年度開発した商品の販売を行いました。後期活動では Patisserie SAVEUR 様とコラボし「社会人が手土産として渡すことのできる焼き菓子」をコンセプトに市場分析を行い商品企画を進めてきました。完成した商品の発売は 2024 年 4 月を予定しています。年間の活動を通して課題を見つけ、次年度の目標を「論理的に物事を捉える、根拠をもって提案する」というように設定しました。

報告会での質疑応答をもとに掲載いたします。

Q：後期活動の商品企画にあたってアンケートを実施したとありましたが、どのような形態のアンケートを実施したのでしょうか。

A：Google のアンケートフォームを用いて作成したものを SNS を用いて手土産を買う世代である親世代を対象に実施しました。そこで得た回答を Excel に写しそこから SPSS を用いて分析を行いました。